

令和3年12月

伊東市議会 12月定例会

一般質問要旨

伊東市議会

一 般 質 問 順 序

- 1 佐 藤 周 君
(11月30日(火) 10時～10時50分)
- 2 中 島 弘 道 君
(11月30日(火) 11時～11時50分)
- 3 篠 原 峰 子 君
(11月30日(火) 13時～13時50分)
- 4 杉 本 憲 也 君
(11月30日(火) 14時～14時50分)
- 5 田 久 保 眞 紀 君
(11月30日(火) 15時～15時50分)
- 6 杉 本 一 彦 君
(12月1日(水) 10時～10時50分)
- 7 鳥 居 康 子 君
(12月1日(水) 11時～11時50分)
- 8 井 戸 清 司 君
(12月1日(水) 13時～13時50分)
- 9 重 岡 秀 子 君
(12月1日(水) 14時～14時50分)
- 10 長 沢 正 君
(12月1日(水) 15時～15時50分)

11 四 宮 和 彦 君

(12月2日(木) 10時～10時50分)

12 浅 田 良 弘 君

(12月2日(木) 11時～11時50分)

13 石 島 茂 雄 君

(12月2日(木) 13時～13時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 周

1 本年8月以降のまん延防止等重点措置及び緊急事態措置に係る県からの協力金の支給に関し、以下2点伺う。

(1) 8月のまん延防止等重点措置に伴う時短協力要請に応じ、協力金の給付申請を済ませてから3か月がたとうとしている中で、いまだに給付を受けていない事業者がいる現状について伺う。

(2) 本市から先行給付を行った後、県からの給付金を市が受け入れるような仕組みが構築できないか伺う。

2 水道事業に関し、以下4点伺う。

(1) 業務の見直しによる、さらなる経常経費の節減策として、周辺事業者との広域連携の可能性について伺う。

(2) 伊東市水道事業第5期拡張事業において、民営水道の統合の推進として、簡易水道事業2事業、専用水道1事業を統合予定とあるが、具体的な事業区域を伺う。

(3) 健全な事業経営継続のための、料金値上げの時期及び値上げ率について伺う。

(4) 令和2年11月改訂の水道ビジョンにおいて、環境に配慮した事業の推進として、太陽光発電や小水力発電などの省資源・省エネルギー対策の推進とあるが、その見通しについて伺う。

3 市内中学校における部活動のうち、バスケットボール、バレーボール及び野球に関し、
以下2点伺う。

(1) 各学校における部員数が10人以下のチームの現状を伺う。

(2) 部員が少ない場合に合同チームが編成されているが、そのガイドラインについて伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 中 島 弘 道

- 1 選挙における投票率低迷の現状及び向上へ向けた今後の対策に関し、以下3点伺う。
 - (1) 今年実施された衆議院選挙における本市及び県内平均の投票率及び全投票に期日前投票が占める割合を伺う。
 - (2) 衆議院選挙における30歳未満、30歳以上60歳未満、60歳以上の投票率を伺うとともに、若者の投票率についてどのように捉えているか伺う。
 - (3) 人口減少を踏まえた適正配置の観点から、投票所の配置を見直す考えはないか伺う。

- 2 空き家についての現状及び対策について、以下3点伺う。
 - (1) 空き家に関する相談件数及びその主な内容を伺う。
 - (2) 本市の空き家率について、全国や県と比較した際の特徴及び課題を伺う。
 - (3) 特定空家の認定状況及び空家等への取組を伺う。

- 3 スポーツツーリズムに関する取組について、以下2点伺う。
 - (1) スポーツツーリズムをどのように捉え、どのような取組により誘客促進を図っているのか考えを伺う。
 - (2) 平成29年度から令和元年度までの各年度における以下の実績を伺う
 - ア 小室山総合グラウンド及び小室山公園テニスコートにおける市外利用者
 - イ オレンジビーチマラソン及びまくら投げ大会における市外参加者

一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

- 1 地域猫活動について、以下3点伺う。
 - (1) 飼い主のいない猫の増加による本市の近年の被害状況について
 - (2) 飼い主のいない猫の去勢・不妊手術補助金制度の利用状況について
 - (3) 地域猫活動に対する補助金制度の導入、また、その財源確保策として、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより寄附を募る考えはないか伺う。

- 2 社会的支援が必要な児童・生徒及びその家庭への取組について、以下3点伺う。
 - (1) スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーの現状と課題を伺う。
 - (2) 不登校児童・生徒の現状及び支援体制について、以下4点伺う。
 - ア 不登校児童・生徒の令和元年度及び令和2年度の出現率について
 - イ 不登校児童・生徒に対する支援の現状及び課題について
 - ウ 適応指導教室の利用者数及び現状の取組と課題について
 - エ 不登校児童・生徒の保護者へ向けた子育て勉強会などの機会を設ける考えはないか伺う。
 - (3) 社会的支援が必要な生徒の進路について、以下2点伺う。
 - ア 中学校卒業後の進路について
 - イ 保護者や生徒へ向けた進路相談会を実施する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 憲 也

- 1 選挙人の利便性向上の観点から、以下4点伺う。
 - (1) 期日前投票所の開設期間について、宇佐美・八幡野コミュニティセンター及び生涯学習センター萩会館では、投票日直近の火曜日から金曜日（投票日の前々日）までの午前8時30分から午後5時までしか開設されていないため、投票期間及び時間について、伊東市役所や伊東ショッピングプラザデュオ同様の運用が有益であると考えますが、期日前投票所の運営に係る本市の見解を伺う。
 - (2) 利便性向上のためには、現在の24投票所を全て共通投票所としてどこでも投票できるようにすることが重要であると考えますが、共通投票所の有効性及び設置の見通しについて、本市の見解を伺う。
 - (3) 投票環境向上に係る取組状況を伺う。
 - (4) 近年の選挙では、投票者総数と投票された投票用紙の数とが一致していないケースや、不在者投票で不受理とされたケースがあるが、本市における発生状況を伺うとともに、発生している場合の改善に向けた取組状況について伺う。

2 メガソーラー確約書問題について、以下2点伺う。

(1) 伊東市政治倫理審査会での審議の進捗状況及び今後のスケジュールについて伺う。

(2) 条例上、原則公開であるはずの会議を非公開とした経緯及び理由を伺うとともに、審議の公正さを担保するための公開に代わる取組について伺う。

3 より良い教育環境に向けた取組の観点から、以下2点伺う。

(1) 本年7月1日に施行された伊東市公立小中学校教育職員の業務量の管理等に関する規則では、昨今の教員の負担軽減の取組に逆行し、無報酬での残業を、平常時で月45時間、一定の場合には過労死ラインを超える月100時間まで認めているが、当該制度設立の趣旨、教職員の残業やメンタルヘルスに関する本市の認識及び教員の残業を減らすための取組について伺う。

(2) 本市の教育費について、令和元年度決算状況における目的別歳出割合が9.7%にとどまるなど、その歳出額が少ないと考えるが、本市の教育費に対する見解を伺うとともに、老朽化が進む教育施設について、将来の修繕や建て替えに備えた財源確保の見通しを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 田久保 真 紀

- 1 荻地区で工事が進められている建設資材置場について、現在の状況を伺う。

- 2 市南部で大量発生しているヤスデについて対策を伺う。

- 3 本市におけるまちづくりの観点から、以下2点伺う。
 - (1) 新図書館建設に係る進捗状況及び財源について

 - (2) 文化ホール建設に係る進捗状況について

- 4 伊東市公共施設等総合管理計画の改訂作業について進捗状況を伺う。

- 5 (仮称)伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業について、現在の状況を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

- 1 新型コロナワクチンの3回目接種が予定されており、対応が今までより複雑化することが想定される中、海外では新たな年代への接種も認められた旨の報道もされていることから、12歳から19歳までの接種状況を伺うとともに、5歳から11歳に対する接種の方向性を伺う。

- 2 内閣府が実施する「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」の令和4年度の募集に応募を検討するとのことであるが、プレゼンテーション資料の作成など、その準備状況について伺う。

- 3 本市における人口減少と少子高齢化は深刻な問題であり、市長も積極的に子育て環境の充実を図る取組を進めてきたところであるが、さらに教育環境の充実を図り持続可能な自治体を構築する必要があると考える。しかしながら、本市における財政は厳しい状況であると考えことから、大胆な行財政改革を実行し効率的な行政運営を図る中で、小・中学校の給食費の無償化を実施すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

- 4 本市のインクルーシブ教育に係る現在の状況と今後の方向性を伺うとともに、ボーダーと呼ばれる軽度の障がいのある児童・生徒への対応状況について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鳥 居 康 子

- 1 SDG sの推進について、以下3点伺う。
 - (1) 市として、SDG sをどのように推進していくのか伺う。
 - (2) 企業との連携において、過日、三井住友海上火災保険株式会社とSDG s推進に関する包括連携協定を締結したが、今後どのような取組を行っていくのか伺う。
 - (3) 子供たちへのSDG sの推進について、学校においてどのような取組を行っているのか伺う。
- 2 多くの自治体が、脱炭素社会実現に向け、「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明し、様々な取組を行っているが、本市としても同宣言を表明する考えはないか伺う。
- 3 地籍調査事業が令和3年度から実施されているが、改めて、本事業の意義と今後の予定を伺う。
- 4 高齢者等の移動手段の一助となる、民間の力を活用した運転ボランティアによる移動支援に係る取組について、その進捗状況を伺う。
- 5 公共交通の空白地域解消に向け、地域住民とともに検討されている取組について、その現状を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 井 戸 清 司

- 1 市内の学校再編について、以下3点伺う。
 - (1) 市内小学校の統合後の利活用について伺う。
 - (2) 旧川奈小学校の跡地利活用として、「川奈」というゴルフでの知名度を生かし、ゴルフアカデミーを設置する考えはないか伺う。
 - (3) 市内県立高校再編後の伊東高校跡地について、現在の県との協議状況を伺う。

- 2 市内への喫煙所設置について、以下2点伺う。
 - (1) 市たばこ税の推移及びこれまでの活用状況について
 - (2) 観光地として、効果的な分煙対策を行うことで、受動喫煙防止やポイ捨て防止につながることから、市内各所に喫煙スペースを設置するべきと考えるが、いかがか。

- 3 本市における障がい者の社会参画について、以下4点伺う。
 - (1) 市役所及び市内企業の障がい者雇用の法定雇用率達成状況について伺う。
 - (2) 就労支援施設におけるサポート体制及び就労状況について伺う。
 - (3) 中学校・高校卒業後の障がい者に対する生涯学習活動などの支援について伺う。
 - (4) 企業誘致を視野に入れた農福連携について、本市の考えを伺う。

4 ICT教育の推進について、以下2点伺う。

(1) デジタル教育のメリット及びデメリットを伺う。

(2) オンライン授業と従来型の対面授業（チョーク&トーク）とを組み合わせたハイブリッド型授業の今後の展望について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

- 1 令和3年度の市税納入状況について、以下2点伺う。
 - (1) 4月以降の全体的な特徴を伺う。
 - (2) コロナ禍の影響が長引く中、新型コロナウイルス感染症に係る徴収の特例猶予の期限を迎えても、なお納税が困難な場合はどのような対応がされているか伺う。

- 2 「魅力あるまちづくり事業」は地域での自主的な活動を育てるために大きな役割を果たしていると考えことから、以下2点伺う。
 - (1) 本事業は、道路などの環境整備事業から子供を主体とした事業まで幅広く活用されているが、そのうち、「まちづくり事業」の行政区や分譲地などにおけるハード事業とソフト事業について、新型コロナウイルス感染症の影響の少ない令和元年度の実績を伺う。
 - (2) 本事業の補助額は、1行政区または1分譲地当たり50万円（世帯数の少ない分譲地は20万円）を上限としているが、子供の育成のための行事などへの活用が大半を占めている行政区もあることから、上限額の見直しなどの検討が必要と考えるがどうか。

- 3 スマートフォンやタブレット端末の普及により、生活リズムの乱れや心身の発達における問題点が指摘されていることから、子供への影響及び対策について、本市の状況を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 長 沢 正

1 成年後見制度について、以下3点伺う。

(1) 本市における利用者数を伺う。

(2) 市民後見人の育成に関して、現状及び今後の見通しを伺う。

(3) 必要な方が適切に利用できるよう、制度のさらなる普及啓発を進める必要があると考えるが、成年後見制度利用促進基本計画の策定について今後の見通しを伺う。

2 高齢者を中心とした地域の見守り活動について、以下3点伺う。

(1) 企業及び団体等との間で締結している包括連携協定において、高齢者の見守りや安全・安心なまちづくりについても協力連携しているが、協定が締結されるまでの経緯について伺う。

(2) ふれあい収集における安否の確認状況について伺う。

(3) 高齢者等への見守り体制について現状を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

- 1 令和3年8月に実施された「市民満足度調査」の結果から、以下3点伺う。
 - (1) 44の調査項目中、36項目で満足度が低下していることについて、どのように受け止めているか伺う。
 - (2) 満足度が低下している項目のうち、「情報公開などによる行政の透明性の向上」がマイナス12.0ポイントと際立っていることについて、その原因をどのように考えているか伺う。
 - (3) 市民満足度調査結果は今後の政策にどのように反映していくこととなるか伺う。

- 2 伊豆メガソーラーパーク合同会社に対して、市長が令和3年2月9日付で交付したとされる「確約書」に関し、その交付に至る経緯について、以下2点伺う。
 - (1) 本年6月定例会において、市長は「事業遅延により発生する関係者の損失、とりわけ伊東市への損害賠償の請求を最小とするため、確約書に署名した」旨の説明を行っているが、市長の言う「損害賠償の請求」については、本市が伊豆メガソーラーパーク合同会社に対して巨額の「損害賠償債務」を負うとの認識であったのか、それとも、単なる「訴訟リスク」の認識であったのか伺う。
 - (2) 確約書の交付に先立って、昨年9月に当局より、控訴審の状況に関して議会に対する説明会が開催されたが、出席した副市長以下当局は、「河川占用不許可処分については、控訴審判決が仮に敗訴でも再度の不許可は可能」との認識であり、その時点では、市長の認識と隔たりがあったことになる。市長だけが異なる認識を持つに至った理由を伺う。

- 3 用途廃止となる清掃事務所建設予定地として取得した土地については、平成30年6月に設置された「土地取得に係る監視機能強化特別委員会」においても、調査対象とされた土地であり、その取得状況調査における評価では、多くの疑問点が解明されないまま残されたことから、以下8点伺う。
- (1) 取得の意思決定過程については、その後十分な検証を行ったか伺う。
 - (2) 本予定地を適地と判断するに至るまでの協議内容について伺う。
 - (3) 交渉記録の中で、当時の市長の意向として「坪2万円」という数字が出てくるが、その金額の積算根拠について伺う。
 - (4) 交渉過程において、唐突に市長の意向が具体的金額として提示されている点が不自然であるが、市長自身が地権者と直接交渉を行っていたのか伺う。
 - (5) 「造成工事費を考慮しても実勢価格の7割以下であり、適正価格である」との判断があったようだが、近傍宅地評価を山林傾斜地に援用していることは適切か伺う。
 - (6) 本予定地売買においては、伊東市公有財産管理規則に規定する書類の添付がなく、また、添付を要しない場合の特別な事情の記載も、評定調書の添付もないが、これは行政手続違反に該当しないのか伺う。
 - (7) 移転整備事業の計画年度のめどが立たないまま今日に至り、用途廃止となることについて、移転整備事業計画は、これまでどの程度具体的な検討が行われたのか伺う。
 - (8) 取得当時、「適地は他になく、取得の必要性はあった」としているが、対島地区における民間委託計画も同時に検討され、道路事情による交通の安全面からも、立地に疑問が呈されている中、取得が決定された経緯を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

- 1 (仮称)伊豆スカイラインCC太陽光発電所建設事業における環境アセスメントの進捗状況について伺う。

- 2 24か所ある投票所のバリアフリー化の現況及び共通投票所の導入について伺う。

- 3 台風や豪雨時における、洪水及び浸水情報の発信に関し、河川を管理・監視する防災カメラの市内の設置状況及びライブ中継について伺う。

- 4 ポストコロナ時代に対応した、消費を喚起する直接的施策及び中長期的視点での観光施策として、伊東八景等の観光資源を有効活用したインパクトを醸し出す取組をすべきと考えるが、いかがか。

- 5 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、ワクチン接種証明等により行動制限を緩和する「ワクチン・検査パッケージ制度」について、制度の概要及び今後の制度周知方法を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 石 島 茂 雄

- 1 現在、藤の広場や宇佐美地区にあるホテルにおいて、また、夜間には路上で若者がスケートボードをしている姿が見受けられることから、競技の普及や安全な利用だけではなく、若者の集いの場の創設を目的としてスケートボードパークを建設してはいかがか。

- 2 馬場の平や鉢ヶ窪について、周辺を含めた環境整備を行い、新たな観光名所として活用していく考えはないか伺う。

- 3 全国的にいじめによる大きな事件が後を絶たないが、本市小・中学校におけるいじめ問題の現状を伺うとともに、学校側の防止対策等について伺う。